

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2011 年 10 月

ISO/TC61(プラスチック)/SC12(熱硬化性材料)分野の最近の動向

1. ISO/TC61/SC12 の構成

ISO/TC61/SC12 は、熱硬化性材料関係の規格の制定・改正等を担当する。幹事国は、日本で、日本プラスチック工業連盟が国際幹事を 2004 年より受諾している。議長も日本（末松征比古氏：天昇電気工業学株式会社）が受諾している。2011 年のメンバーは、P メンバー（投票権有す）が、19 カ国で昨年より 1 カ国（ウクライナ）増加した。O メンバー(オブザーバ)は、ウクライナが P メンバーに移行したが、新たにスリランカが入り 12 カ国と昨年と同数となった。

表 1 のように四つの WG（作業グループ）が活動している。

WG のコンビナーは、WG1 及び WG2 は空席、WG5 はエポキシ樹脂技術協会の事務局長、栗田邦夫氏、WG6 は Dr.Thomas.Conti（ANSI ; USA）が務めている。

第 60 回 ISO/TC61 年次国際会議は、9 月 25 日からマレーシアのクアラランプールで開催され、同会議で審議する予定である国際規格の制定・改正状況を WG（作業グループ）別に、日本提案を主に記述する（規格の名称は簡略して示す。）。

2. ISO/TC61/SC12 の審議事項

(1) WG1 及び WG2

今年は、Systematic Review もなく。プロジェクト(PJ)もない。

国際会議では NWI の発掘に関し議論する。

表 1 TC61/SC12 の WG

WG	コンビナー	タイトル
WG 1	空席	熱硬化性樹脂成形材料
WG 2	空席	フェノール樹脂
WG 5	日本	エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂
WG 6	USA	ウレタン原料

(2) WG5(エポキシ樹脂、不飽和ポリエステル樹脂)

a) ISO3673-2 (エポキシ樹脂) の改正

昨年の Systematic Review で日本が提案（対応 JIS と整合化する。）し改正中である。DIS 投票の結果を審議する。

b) ISO/DIS14322 (エポキシ樹脂硬化度/DSC) 制定

日本提案で制定中であるが、DIS 投票のコメントについて審議する。

c) ISO 4901:1985(不飽和 PET の残留スチレン量の求め方)の改正をオランダが提案し改正中である。FDIS 投票で承認され、発行される予定である。

d) 2011 年 Systematic Review で 4 規格が見直し投票され、全て確認とされた。

(3) WG6 (ポリウレタン原料)

a) ISO 15063:2004 (ポリウレタン用ポリオール—全アミン量) 及び ISO 14898:1999 (酸度の求め方) の改正中(日本提案)で、前者は FDIS 投票中で、後者は追補で改正中 (FDamd) で、その進捗をバンコック会議で確認・審議する。

b) 2011 年 Systematic Review で 5 規格が投票となり、次の 3 規格について審議する。(全て日本提案)
ISO/TR9372(TDI 異性体)：廃止提案

ISO14899(ホ[°]リオール塩基性度) : 改正提案

ISO25761(ホ[°]リオール N2% 表示アミノ価) : 改正提案

以上